

学校だより 第6号

松本市立高綱中学校



たかつな

発行責任者 矢島 勤
平成29年10月27日

高綱中にこんな支援ができます ～第2回チーム若鷹運営委員会～

学校を様々な形で支援してくださっている「チーム若鷹運営委員会」が18日（水）に行われました。読書・ふれあい、学習・地域交流、緑化・環境・安全、スポーツ・文化の4つの領域から高綱中学校を支えてくださっています。今回は、年度前半の活動反省と、後半に向けての活動計画の検討が行われました。



上半期の「地域との交流」を振り返りますと、地域の皆様の協力のお陰で、有意義な交流、活動、支援となっております。若鷹祭では、生徒からその報告がありました。短時間の交流や作業ではありましたが、奉仕活動を行ったり、ふるさとを学んだり、地域の人と触れ合ったりすることで、どの活動も学ぶことが多く、本校のめざす姿「地域を支え、地域に頼りになる高綱中生」に少しずつ近づいている活動になっていたと思います。この他にも、読み聞かせ、防災訓練、環境整備、学習支援等、たいへんお世話になっていきます。今後もよろしくお願ひします。〈学校長〉

松本大学教育学部1年生の学生は、1月下旬には講義が終わるので、その後は学習支援に協力できます。また、来年2年生になると講義のない水曜日の午後に支援ができます。〈松本大学の先生〉

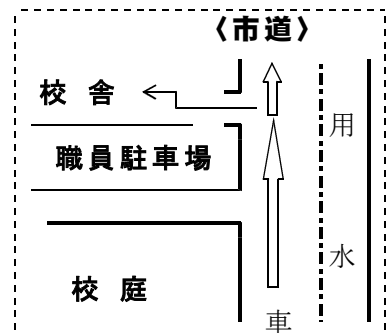
私の家には使わない楽器があります。よろしかったら吹奏楽部でお使いください。また、地域にも同様の家庭もあると思います。〈読み聞かせの支援者の方〉



〈運営委員の皆様よりご意見をいただきました〉

お願いいたします

1. 朝、送迎のため、職員駐車場に入ることはご遠慮ください。万一入った場合は、職員駐車場を出る時は左折してください。その際、自転車や徒歩の生徒に十分気を付けてください。なお、下車は昇降口正面の路上でお願いいたします。
2. 高綱中南側市道交差点付近は徐行し、停止線では停止してください。指示のない限り、生徒の横断中は進行しないでください。生徒への接触の恐れがあります。
3. 敷地内及び周辺はスピードをおとして通行願ひします。



読書への関心が高まりました

3日（火）から13日（金）まで、秋の読書旬間でした。図書文芸委員会生徒の企画・運営への熱意は高く、図書館クイズや生徒集会（本の紹介）等様々な取り組みがなされました。他方、朝の読書タイム（朝読書）は年度当初より継続して取り組んでいます。

今回は、委員会で仲間といっしょに、本の紹介や図書館内の装飾など様々な企画をしてみました。その結果、たくさんの皆さんが立ち止まってポスターを見てくれたり、委員会の企画に参加してくれたりして、とてもよい旬間になりました。図書館のご利用ありがとうございます。

【図書文芸委員長】



〈園児もびっくり！〉

〈読書をしたくなる環境〉



高綱中学校は、他の学校に比べて読書をする環境がととのっていると思います。また、今回の図書委員会の活動で読書への関心がさらに高まりました。〈3年生女子〉

わかりやすい掲示や美しい装飾がされていました。ポスターを読んで初めて知る本があったり、図書館にある本のことを知ったりすることができました。〈1年生男子〉

日々の学校生活にいかしていきたいです

18日（水）に生徒集会が行われ、夏休みに行われた姫路市・松本市中学校交歓キャンプ及び広島市平和式典参加の報告会が行われました。

交歓キャンプに参加した3年女子からは、「学ばせていただいたことを、日々の学校生活にいかしていきたい。」という願いを發表しました。その思いを受けた全校生徒は、真剣な表情で發表を聞き映像をしっかりと見っていました。活動も發表も有意義な取り組みになりました。



〈人と人とのつながりが大切だ。〉



〈核兵器は何の役にも立たない！〉